

第29回 金型関連技術発表交流会 開催のご案内

(一社)日本金型工業会中部支部
支部長 小出 悟
技術委員長 田中 幸好

冷秋の候 時下益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。日頃より中部支部事業にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度「第29回金型関連技術発表交流会」を中部支部技術委員会主催にて下記の通り開催いたします。

金型関連技術発表交流会は、金型の設計、製造等に関する最新の技術情報を金型製造企業の皆様に提供する場として、中部支部会員企業の協力の下、中部支部技術委員会が主要事業の一環として開催いたしております。本交流会を通じ、会員企業、金型製造企業、金型製造に関わる企業の皆様が積極的な技術交流に努め、既存技術の改善、新技術の開発等に結び付けることができる場としてご活用して戴きたく存じます。

また、技術発表終了後、参加聴講者並びに発表者、技術委員による情報交流会も行いますので、是非多くの方々にご参加いただき、交流を深めていただきたく存じます。

経営者の方々のみならず、ご担当者の方々の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

又、(一社)日本金型工業会会員以外の金型製造に係わる方々の参加も可能でございますので、是非お問い合わせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

<日 時> 平成27年11月12日(木) 午後2時00分～

<会 場> アパホテル 名古屋錦イセント 4階 旭の間

愛知県名古屋市中区錦3-15-30 地下鉄/東山線・名城線「栄駅」2番出口より徒歩約1分

<定 員> 50名

<参加費> ・技術発表会 無料

・交流会

(一社)日本金型工業会 会員企業＝1名当たり2,000円、会員外企業＝1名当たり3,000円

<申込方法> 裏面申込書を中部支部事務局にFAXにてご送付をお願い申し上げます。

返信先：(一社)日本金型工業会中部支部 事務局 FAX№.052-937-9889

<申込締切> 定員に達し次第締め切らせていただきます。

参加申込を受け付けた方にはFAXにて受付票をご送付いたします。

<プログラム>

PM2:00 主催者開会挨拶

2:05 ①「 スーパークリーナーによる、ワイヤカットのさらなるコストダウン 」

(発表者 橋本 直幸氏：(株)橋本テクニカル工業)

発表終了後、質疑応答 (～2:55)

3:05 ②「 現場の実情に合った工程管理支援システム『cycleon』

～金型屋がシステム開発に携わることで見えたシステムの要素とは?～ 」

(発表者 本田 大介氏：ベントム工業(株))

発表終了後、質疑応答 (～3:55)

4:05 ③「 部品計測におけるディメンショナルX線CTの活用

～X線CT METROTOM の紹介及びマルチセンサー測定器 0-INPECT の紹介～ 」

(発表者 井口 真二氏：カールツァイス(株))

発表終了後、質疑応答 (～4:55)

5:00 聴講者に並びに発表者、技術委員による情報交流会 開催 (発表会会場後方)

6:30頃 情報交流会 終了

*各発表講演の要旨、参加申込書、質問等記入欄は、裏ページをご参照ください。

*質疑応答をスムーズに進めるために、事前に皆様からの質問等を募集します。発表者から当日に質問の答えをしていただけるよう進めております。どのようなことでも結構ですので、是非「参加申込書一質問等欄」にご記入ください。(都合上、当日すべての質問にお答えできない場合もありますので、お含みおきください。)

【発表講演内容要旨】

① 「 スーパークリーナーによる、ワイヤカットのさらなるコストダウン 」

(発表者 : 橋本 直幸 氏/㈱橋本テクニカル工業 代表取締役)

ワイヤカットにおいてWS(ワイヤ線送り速度)とワークのテーパー度について

① 対策はないのかを他社データを参考にしながら、さらなるコストダウンの方法の提案。

② 加工精度をキープしながらの、さらなるコストダウン

イレギュラーな断線を防ぐ為の自動結線時の設定変更・プログラム変更についての説明

各メーカーの最新機種 of 技術革新と方向性について

② 「 現場の実情に合った工程管理システム『cycleon』

～金型屋がシステム開発に携わることで見えたシステムの要素とは?～

(発表者 : 本田 大介 氏/ベントム工業㈱ 代表取締役)

多品種、小ロット、金型、試作、短納期などをキーワードに開発した工程管理ソフトです。

「現場の実情に合った」「無理のない」工程管理を実現します。

「納期の突然の変更」「製作途中の設計変更による工程変更」「不良の発生」「製作数の変更」「金額の変更」などの経験が、どの会社にもあると思います。多品種、小ロット、短期間に対応している製造業者は、これらの問題に頭を悩ませつつも、納期や品質を守らなければなりません。

これまで作業者の頭の中で曖昧に運用されていた現場をシステム化により「見える化」し、日々の様々な突発事項に対応可能な柔軟性のあるシステムを目指しました。『cycleon』で工程管理を運用している事例に加え、金型製造業として工程管理システム開発に携わった経緯や、システムの効果などシステムを検討している方々が気になっている情報をプレゼンテーションいたします。

③ 「 部品計測におけるディメンショナルX線CTの活用

～X線CT METROTOM の紹介およびマルチセンサー測定器 0-INPECT の紹介～

(発表者 : 井口 真二 氏/カールツァイス㈱)

非破壊検査かつ寸法測定が可能であるDimensional X線CTの活用が注目されつつあります。

ZEISSが提案するDimensional X線 CT METROTOMシリーズとはどのようなものか、設備の制度について

概要説明をするとともに、そのような分野に活用が可能かを紹介します。

また、接触式3次元測定機の機能に、画像測定およびホワイトランセンサーを兼ね備えたマルチセンサー測定機0-INPECTについて紹介をいたします。

第29回 金型関連技術発表交流会 (H27. 11. 12) 参加申込書

(返信FAXNo. 052-937-9889)

参加者氏名	役 職	部 署	懇親会
			出 ・ 欠
			出 ・ 欠

会社名

TEL

FAX

<発表者への質問等>

発表者名	質問等
発表者名	質問等
発表者名	質問等

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本発表交流会の事務に利用するとともに、聴講者リストを作成し、講師に手交します。